

名古屋市立はとり幼稚園の閉園延期を求める嘆願書

名古屋市長 河村 たかし様

名古屋市教育委員会教育長 杉崎 正美様

嘆願事項

社会のニーズに対応した今後の市立幼稚園のあり方を模索すべく、はとり幼稚園で新たな試みを通じてノウハウを蓄積するために、閉園年度の延期を求めます。

理由

平成29年9月18日付け毎日新聞より、「認定こども園」は増えているものの、もともと保育所だったところに移行したケースが多く、思うような保育の受け皿拡充につながっていない。そこで文部科学省と内閣府は認可保育所などに入れない待機児童を解消するため、来年度から幼稚園で2歳児の受け入れを認める方針を決めた、とあります。2歳児を対象に長時間の「一時預かり」の枠を新たに設け、財務省に保育士の人件費などの運営費を補助するため予算を求めている、と書かれています。【資料1】

また、平成29年6月28日付け事務連絡「子育て安心プラン」に基づく幼稚園における2歳児等の受入れ推進についてによると、待機児童のうち1・2歳児が7割以上を占めており、今後、育休最長2年への延長等により2歳児以降の保育ニーズがさらに増大・多様化していくと見込まれている、とあります。【資料2】

日頃より名古屋市立幼稚園では国が示す幼児教育の在り方を実践し、質の高い教育を提供しています。小学校の教員からは公立幼稚園出身者は自分ができたらそれで終わりではなく、友達にアドバイスしたり、頑張れと応援する姿が見られるという話が聞かれたり、はとり幼稚園周辺に住んでらっしゃる方から市立幼稚園ができた当時、荒れていた中学校が次第に落ち着いていったという話も聞かれます。健全に育ち自立した大人になっていく子どもたち、その子らを育てた（そしてこれまで名古屋市が育ててきた）先生たちが活躍する場をなくすことは名古屋市にとって大きな損失です。

名古屋市立はとり幼稚園は、閉園計画案が本年度4月に発表され、8月に決定されたにも関わらず平成30年度入学希望者が第一次募集の段階で17名となりました。昨年度より希望者が多く、一定のニーズがあり、この地域にとって必要な存在であります。

近隣の国道302号線では名古屋環状2号線の高速道路の建設に伴い著しく道路状況が変化し、今後は高架建設により日光が遮られ見通しの悪化も予想されます。保護者としてもこの国道を超えて他園へ行く不安は小さくありません。

また、園庭や目の前に広がる富田公園で四季折々の自然を感じることができ、公園を散歩しているおじいちゃん・おばあちゃん、下校後に遊びに来る小学生のお兄さん・お姉さ

ん、そして隣接する富田図書館の方との交流など、子どもの心身の成長にとって素晴らしい環境が整っています。さらに、近隣の中学校の運動会参加、保育園との交流運動会、お店での買い物体験を通して地域との交流を図るなど、地域から愛された存在となっています。子どもの声が騒音だと感じるかたがいる中で「この幼稚園はなくしてはいけない」と声を上げるおじいちゃんたちがここにはいます。

名古屋市立はとり幼稚園ではもとより預かり保育制度が充実しており、経験・実績が他の園より豊富です。働いているお母さんもたくさんいます。そして未就園児教室も数多く実施しています。近隣には複数の市立保育園が存在し、情報交換等も容易です。名古屋市では、市立保育園の再編も行われており、多くの市立保育園が民間へ移管される予定であり、経験豊富な保育士の確保も可能であると考えられます。【資料3】また、名古屋市教育委員会の念願である幼児教育センター主導の研修等で他の園の先生、公立保育園の先生たちにも広くこの経験が蓄積され、名古屋市の教育の質を高めることができると考えます。

幼児教育人口の減少に合わせてただ閉園することは、目先の経費削減にはつながるが、10年後にはまた同じことが繰り返されかねません。

これらのことを踏まえまして、満3歳児、2歳児の受け入れの実施の試みを通じてノウハウを蓄積するために、閉園年度の延期を強く要望いたします。

平成29年10月26日

嘆願者住所

名古屋市中川区服部三丁目601

名古屋市立はとり幼稚園存続を願う会

代表者 大橋 里穂